

2016年度第2回理事会 (定例)開催



FIVB ワールドグランプリ 2016

2016年6月7日(火)に開催された2015年度第2回理事会(定例)の概要をお知らせします。

●第6期(2015年度)決算について

第6期(2015年度)決算について説明がなされ、賛否を諮りこれを承認可決しました。

当期の決算については、事業収益が、3,007,202千円、その内容は協賛金収入913,746千円、入場料1,063,019千円、業務委託料592,130千円などが主なものです。これらに受取メンバー制度登録料199,113千円、受取補助金・交付金等273,382千円等を加えると、当期収入の合計は3,492,193千円となりました。事業費は競技力向上事業707,359千円、国際大会等開催事業1,605,559千円、全国大会等開催事業477,466千円が主なものであり、これに管理費を加え経常費用合計は3,371,665千円となりましたが、評価損10,956千円と経常外費用157,205千円を計上した結果、当期正味財産増減額は△95,164千円となりました。

【監査報告】

続いて、下記の通り監査報告が行われました。

「公益財団法人日本バレーボール協会の第6期(2015年4月1日～2016年3月31日)の業務及び財産の状況等について監査したところ、適正かつ公正に処理されており、その内容が事実であることを認める。また、理事の職務執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められない。」

* 第6期(2015年度)決算は2016年6月22日に開催された評議員会で承認されました。

* 第6期(2015年度)決算についての詳細は、加盟団体代表委員総会にてご説明いたしましたが、今後JVAホームページにも掲載いたします。

●第6期(2015年度)事業報告について

第6期(2015年度)事業報告について説明がなされ、賛否を諮りこれを承認可決しました。

*第6期(2015年度)事業報告についての詳細は、加盟団体代表委員総会にてご説明いたしましたが、今後JVAホームページにも掲載いたします。

●2050年構想について

2050年構想についての説明がなされ、賛否を諮りこれを承認可決しました。

*2050年構想についての詳細は、別添資料のとおりです。

●監事推薦候補者の決定について

監事候補者の決定について、本日までの経緯及び役員候補者推薦委員会での候補者決定に至る審議の内容について説明がなされ、賛否を諮りこれを承認可決しました。

<本日までの経緯説明>

■2016年6月22日の定時評議員会終結の時をもって、高橋監事、大西監事、廣監事の任期が満了となり、評議員会において定款に記載の通り、監事3名以内の選任が行われます。

■2016年1月19日に開催された第7回理事会において、役員候補者推薦委員会の設置及び役員候補者推薦委員7名が選任されました。(西川評議員、木村会長、林理事、大西監事、中野事務局員、外部委員からは間野氏、村井氏)

■3月17日に役員候補者推薦委員会を開催し、理事と加盟57団体から推薦された候補者について審議を行い、今回理事会に提案する候補者リストを決定しました。

<委員会での審議経過説明>

■理事・各加盟団体から5名の候補者が推薦されました。監事は独立した立場から物事の是非を判断し、中立性が重要とされます。監事候補者を審議する視点として、候補者の経験、職務遂行能力、監事の新陳代謝、監事としての継続性等を総合的に判断した上で役員候補者推薦委員会から今回3名の候補者リストを理事会に提出しました。

(推薦候補者)工藤陽子 : 米国公認会計士、新日本有限責任監査法人アカウンティングソリューション事業部・財務会計アドバイザー・シニアプリンシパル

西川秀人 : 株式会社丸の内よろず社外監査役

廣紀江 : 現JVA監事、学習院大学スポーツ・科学健康センター教授

*上記3名の監事候補者は、2016年6月22日に開催された評議員会において正式に選任されました。

●アスリート委員会委員の追加選任について

アスリート委員会委員の追加選任について下記の通り説明がなされ、賛否を諮りこれを承認可決しました。

アスリート委員会としての活動範囲を広げ、活動内容を充実させるためには、より多くの現役選手からの声を聞く必要があり、今回以下の委員の追加選任を提案いたします。

追加メンバー(5名)

- ・秋山美幸 :元 NEC レッドロケッツ選手／現青山学院女子バレーボール部コーチ
- ・上場雄也 :ビーチバレーボール日本代表選手／松戸レガロ所属
- ・内山正平 :豊田合成トレフェルサ所属
- ・奥村麻衣 :JT マーヴェラス所属／リオ五輪強化指定選手
- ・長谷川暁子 :元 ビーチバレーボール日本代表選手／ミキハウス所属

●選手選考基準について

選手選考基準について説明がなされ、賛否を諮りこれを承認可決しました。

今回の基準の制定は、日本代表選手選出において競技者と競技団体との紛争を前もって回避し、大きなトラブルに発展させないためにも、選考基準を明確にしてもらいたいとの日本オリンピック委員会からの要請を受けた事によります。併せて、本件については、理事会でもオリンピックの選手選考基準を明確にするべきとの指摘を受けておりました。

今回強化事業本部とビーチバレーボール事業本部で本基準を作成しました。

この基準は、リオデジャネイロオリンピックで上位入賞を目指すことのできる日本代表チーム編成のために制定するものであり、以下の内容を規定しています。

- ① 選手選考における権限の所在
- ② 選考基準と選考手順(方法)
- ③ 発表と通知
- ④ 候補選手のコンプライアンス遵守義務

* 選手選考基準についての詳細は、別添資料のとおりです。

●コンプライアンスホットライン制度運用規程の改定について

コンプライアンスホットライン制度運用規程の改定について下記の通り説明がなされ、賛否を諮りこれを承認可決しました。

本件は、みなし決議により2016年5月9日付で承認されましたが、急ぎ準備をして承認を得たため、その後2つの法律事務所及びJVA間での業務範囲、業務手順について調整が必要となり、一部規程の修正が発生しました。ただし、修正部分は、規程の趣旨を大きく変更する内容ではありません。

*コンプライアンスホットライン制度運用規程については、JVA ホームページ「JVA のコンプライアンス」からご覧になれます。(URL: http://www.jva.or.jp/jva/pdf/teikan/compliance_hotline.pdf)

なお、先般のコンプライアンス規程の制定に伴い、「指導における倫理ガイドライン」についても「倫理規程」の引用部分を「コンプライアンス規程」の内容に差し替えが発生することが報告され、了承を受けました。

●表彰規程の変更について

表彰等規程の変更について以下の通り説明がなされ、賛否を諮りこれを承認可決しました。

【表彰規程（下線部主な変更点）】

（附則）

2. 第2条1. (1)①「功労者Ⅰ」、(1)②「功労者Ⅱ」並びに第2条1. (2)「功労団体」の表彰については本会にて執り行う。

9 ブロック理事長会から、「功労者Ⅰ表彰」だけではなく、「功労者Ⅱ表彰」に関しても JVA にて表彰式を執り行ってもらいたいという要望を受け、表彰委員会で検討の結果、今回の改定に至りました。

●体罰・暴力に対する処分の決定について

体罰・暴力に対する処分の決定について以下の通り説明がなされ、賛否を諮りこれを承認可決しました。

2016年5月23日に開催されたコンプライアンス委員会にて、下記処分案が決定されましたので、理事会に提案いたします。

■対象者

鹿児島県立高等学校教諭、男子バレーボール部顧問(バレーボール指導員資格保有者)

■公表された事実関係

・2015年4月21日

当該高校男子バレーボール部員の一人の右頬を左手で少なくとも10回叩き、別の男子部員一人の右頬を左手で少なくとも5回叩いた。

・2015年10月20日及び23日

上記男子バレーボール部員の一人に対して不適切な発言を行い、精神的苦痛を与えた。

・さらに、2013年4月から2015年10月にかけて、少なくとも13回にわたり生徒の頬を叩いたり、胸や肩を突くなどした。

■コンプライアンス規程違反と認定する理由

この事実関係は、鹿児島県バレーボール協会の報告書を根拠としており間違いないと判断する。よって、この事実は公益財団法人日本バレーボール協会コンプライアンス規程第6条-2-(1)(禁止事項)に違反する行為と認定する。

■本件に関する処分

全国バレーボール指導員資格の登録抹消処分とする。

(資格取り消しについては、日体協での手続きを経た上で本人に通知される予定です。)

なお、当該顧問に対しては本件に関わる弁明の機会について問い合せましたが、弁明の機会は必要なしとの回答を受けました。

●役員報酬について

役員報酬について下記の通り説明がなされ、賛否を諮りこれを承認可決しました。

2015年7月29日に開催された2015年度第4回理事会(臨時)にて木村会長の役員報酬について決議が行われ、当時は赤字削減に対する会長の強い意思によって、本来の報酬額から23%減で支給してきました。今年度は、経常利益が200百万円以上改善し、121百万円となるとともに、会長として精力的に職務にあたっていることから、本来の会長の報酬額に戻すことを提案いたします。

なお、他の業務執行理事の役員報酬及び非常勤役員手当については現状(減額を実施中)からの変更はありません。

●報告事項

(1)2016 年度第 1 四半期職務執行報告について

法令及び理事会運営規程に基づき、2016 年度第 1 四半期の職務執行報告が、木村会長及び業務執行理事、強化事業本部長より行われました。主な報告内容は以下の通りです。

【木村代表理事／会長】

- ①9 ブロック理事長会 出席
- ②FIVB 理事会(スイス)出席
- ③2050 年構想策定委員会 出席
- ④第 65 回黒鷲旗開会式 挨拶
- ⑤AVC 理事会(バンコク)出席
- ⑥Vリーグ(豊田合成、PFU、久光製薬)各チーム 祝賀会出席
- ⑦熊本県、大分県バレーボール協会へ義援金のお届け

【林業務執行理事／事務局長】

- ①職員、強化スタッフ等との 契約更新業務
- ②東京大会 2020 準備室 定例会議 出席
- ③役員候補者推薦会議 出席
- ④ムーブメントプロジェクトリーダー会議 出席
- ⑤コンプライアンス規程会議・委員会 出席
- ⑥各協力社、関係先との折衝
- ⑦Vリーグ機構関連 業務

【下山業務執行理事／国際・国内事業本部長】

- ①9 人制プロジェクト会議 出席
- ②2016 世界最終予選 兼 アジア大陸予選 会議出席、大会運営
- ③黒鷲旗代表者会議 出席、大会運営
- ④6 人制、9 人制クラブ選手権実行委員会 会議出席
- ⑤2017 ワールドグランドチャンピオンズカップ大会 打合せ
- ⑥2018 女子世界選手権大会 打合せ
- ⑦2019 ワールドカップ男女大会 打合せ

【宮島業務執行理事／M&M 事業本部長】

- ①世界最終予選 兼 アジア大陸予選スポンサー対応
- ②JOC & TOCOG 広報・マーケティング実務者セミナー 出席
- ③全日本男子・女子記者会見 対応
- ④ビーチバレーボールイベント 視察
- ⑤オフィシャルスポンサー契約業務
- ⑥2016 年度ルールブック販売関連
- ⑦「VOLLEYBALL CHANNEL」の番組チェック及び企画内容の確認作業

【井原業務執行理事／業務推進室長】

- ①コンプライアンス委員会 出席
- ②ビーチバレーボール部長会 出席
- ③FIVB 財務委員会 出席
- ④監事会 陪席
- ⑤大田区松原区長への訪問
- ⑥企画部会議出席
- ⑦公認会計士監査 説明打合せ

【桐原業務執行理事／ビーチバレーボール事業本部長】

- ①男女日本代表決定戦 視察
- ②品川区役所、杉並区役所 訪問
- ③ジャパンビーチバレーボールツアー大会 開幕
- ④Vリーグ部長会 出席
- ⑤U21 世界選手権(スイス)帯同
- ⑥2017 年国際大会 開催準備
- ⑦ビーチ転向選手の交渉

【荒木田強化本部長】

- ①JOC アスリート専門部会規程プロジェクト 参加
- ②シニア女子代表チーム中国遠征 同行
- ③シニア女子代表チーム合宿 同行
- ③プロジェクトコア監督活動 打合せ
- ④JVA アスリート委員会 出席
- ⑤中学校体育連盟議 出席
- ⑥世界最終予選 兼 アジア大陸予選男女大会

(2)今後の理事会等開催(予定)について

今後の理事会等開催予定について、以下の通り説明が行われました。

- ・9月13日(火) 14:00～17:00 臨時理事会
- ・10月25日(火) 14:00～17:00 理事会(定例)
- ・1月17日(火) 14:00～17:00 理事会(定例)
- ・3月14日(火) 14:00～17:00 理事会(定例)
- ・5月30日(火) 14:00～17:00 理事会(定例)
- ・6月14日(水) 14:00～16:00 定時評議員会

(3)功労者Ⅱ表彰報告

- 第7期(2016年度)第1回功労者Ⅱ表彰者
夏目 維文(静岡県バレーボール協会 副会長)

(4)「熊本県熊本地方を震源とする地震」復興支援募金活動等について

「熊本県熊本地方を震源とする地震」復興支援募金活動等について以下の通り説明が行われました。

- 4月14日に熊本県熊本地方を震源とする地震が発生しました。これを受け、4月17日に全日本男子チ

ーム・龍神 NIPPON は紅白戦を行った合宿先の沖縄市体育館(沖縄県沖縄市)にて、沖縄県バレーボール協会とともに「平成 28 年熊本地震災害支援共同募金」を実施し、422,802 円の支援金が集まりました。支援金は沖縄県バレーボール協会を通じて熊本県バレーボール協会に届けられました。

○4 月 29 日から開催した第 65 回黒鷲旗全日本男女選抜バレーボール大会では会場の大阪市中央体育館(大阪府大阪市)において、本大会出場チームならびに V リーグの「キャプテンミーティング」参加選手を中心とした「『熊本県熊本地方を震源とする地震』復興支援募金活動」を実施しました。大会期間中に集まった 1,977,966 円は毎日新聞社の社会事業団を通じて熊本県の義援金受付窓口へ届けられました。

○5 月 16 日に木村会長が熊本県と大分県を訪問し、両県のバレーボール協会に日本バレーボール協会からの支援金として熊本県に 1,000,000 円、大分県へ 500,000 円、さらに JVA 事務局内で募った支援金を届けました。

○5 月 14 日(土)より東京体育館(東京都渋谷区)にて行われた「2016 リオデジャネイロオリンピック世界最終予選兼アジア大陸予選大会」では、JVA アスリート委員会を中心に、バレーボール、ビーチバレーボールの現役選手、V リーグチームや世代別全日本チーム、OB・OG 選手に加え、様々な競技のアスリートが募金活動に参加しました。大会期間中に集まった 6,397,190 円は、6 月 9 日に木村会長、竹下アスリート委員会委員長、越川アスリート委員によって、熊本県知事に直接届けられました。

今後は現地におもむき、被災地の方々へ元気をお届けする活動を中心に行ってまいります。

以 上

発 行 : 公益財団法人日本バレーボール協会

発行人 : 事務局長 林 孝彦

電 話 : 03-5786-2100 FAX:03-5786-2109

E-mail : generalaffairs@jva.or.jp